

- 
- (1) クロスピー・A・W (佐々木昭夫訳) 『ヨーロッパ帝国主義の謎』岩波書店、1998年、2-5頁。なお原著は以下の通りである。Crosby, A.W., *Ecological Imperialism. The Biological Expansion of Europe, 900-1900*, Cambridge 1998. なお紙幅の関係上、本稿の典拠は必要最小限にとどめた。詳しくは注13と注14に掲げた拙稿・拙著を参照されたい。
- (2) ラートカウ・J (海老根剛・森田直子訳) 『自然と権力—環境の世界史—』みすず書房、2012年、第5章を参照。該当箇所は281頁、293頁。
- (3) 及川順 『ドイツ農業革命の研究』自費出版(及川博)、2007年、を参照。
- (4) ヘイガー・T (渡会圭子訳) 『大気を変える錬金術』みすず書房、2010年、を参照。
- (5) Vgl. Gudermann, R., *Morastwelt und Paradies : Ökonomie und Ökologie in der Landwirtschaft am Beispiel der Meliorationen in Westfalen und Brandenburg 1830-1880*, Paderborn 2000
- (6) マクニール・J・R 『20世紀環境史』名古屋大学出版会、2011年、245頁。
- (7) 安富歩・深尾葉子編 『「満洲」の成立』名古屋大学出版会、2009年、を参照。
- (8) 野田公夫 『日本農業の発展論理』農山漁村文化協会、2012年、50頁以下。
- (9) Weber, A., Ursache und Folgen abnehmender Effizienz in der DDR-Landwirtschaft, in: Kuhrt, E.(Hg.) , *Die Endezeit der DDR-Wirtschaft*, Opladen 1999, S.226 (Anm.27). ここでいう穀物単位は統計処理のための修正値である。ちなみに東ドイツの場合は、集団化完了後の1960年代から急上昇に転じている。
- (10) Uekötter, F., *Die Wahrheit auf dem Feld. Eine wissensgeschichte der deutschen Landwirtschaft*, Göttingen 2010, S.331f
- (11) .Vgl. Ebenda, S.332-338.
- (12) Kluge, U., *Agrarwirtschaft und ländliche Gesellschaft im 20. Jahrhundert*, München 2005, S.45.
- (13) 本節は、足立芳宏 「「第三帝国」の農業・食糧政策と農業資源開発」野田公夫編『農林資源開発の世紀』京都大学学術出版会、2013年、第6章、による。
- (14) 本節は、足立芳宏 『東ドイツ農村の社会史』京都大学学術出版会、2011年、による。
- (15) Johrdan, C. Umweltzerstörung und Umweltpolitik in der DDR, in: *Machtstruktur und Entscheidungsmechanismen im SED-Staat und die Frage der Verantwortung*, hg.v. Deutschen Bundestag, 1995, S.1784.
- (16) 野田公夫編『農林資源開発の世紀』および同編『日本帝国圏の農林資源開発』(いずれも京都大学学術出版会、2013年)を参照。
- (17) このフレーズは、中岡哲郎 『科学文明の曲がりかど』朝日選書、1979年、53頁以下による。